

（１）新型コロナワクチンの接種状況について

はじめに、新型コロナワクチンの接種状況についてご報告いたします。

まず、本市に配分されているワクチンの数についてであります。5月31日の時点で、およそ3万3,000回分のワクチンが届いております。さらに、6月7日の週には、プラス1万回分の到着が確定しているため、現時点で市内の65歳以上の方へ、2回ずつ接種できる分のワクチンを確保できております。

次に、ワクチン接種の予約状況であります。5月30日現在、市内の施設入所者を除く対象者およそ2万人のうち、8割に当たる、およそ1万6,000の方が、予約を済まされております。これは、昨年のインフルエンザワクチンの接種率がおよそ7割だったことを踏まえると、新型コロナワクチンへの関心の高さがうかがえるものであります。

今後は、国から示されている「7月末までに希望する高齢者に対するワクチン接種の完了」を、より確かなものにするため、接種完了が8月1日以降になってしまう方の予約を前倒して対応できるよう、集団接種での1日当たりの接種回数を25パーセント程度増やすとともに、芳賀郡市医師会との連携による個別接種での受け入れを拡大し、希望者が7月末までに接種を完了できるよう努めてまいります。

その際、貴重なワクチンが接種を希望するすべての方にいきわたるよう、二重予約が生じないような周知も行ってまいります。

最後に、現在の接種状況であります。市で行う集団接種では、5月30日までに1,183の方が、また、高齢者施設での接種や医療機関での個別接種では、5,887の方が、それぞれ1回目の接種を受けており、市内の合計人数は7,070人で、全高齢者2万1,000人に対する接種率は、およそ34パーセントとなっております。

このうち、すでに2回目の接種を終えた方は830人で、高齢者のおよそ4パーセントの方が、ワクチン接種を完了したこととなります。

引き続き、芳賀郡市医師会にご協力をいただき、スムーズなワクチン接種を行ってまいります。

（２）低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金について

次に、子育て世帯 生活支援 特別給付金についてであります。コロナ禍の影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対する生活支援として支給いたします。

対象者は、児童扶養手当の受給世帯および住民税 非課税の子育て世帯であります。支給額は、18歳までの児童一人あたり5万円で、財源は全額 国庫負担となっております。

支給時期については、申請が不要となる児童扶養手当の受給世帯に対しては、5月11日に登録口座への振込を完了しております。また、家計が急変したひとり親世帯については、手続きが必要となるため、現在、市役所3階の特別会場において、申請を受付しており、6月から順次、支給してまいります。

そのほか、ひとり親に関わらず、非課税世帯を対象とした給付金について、現在、国で制度設計を進めているところでありますので、具体的な内容が決定次第、市ホームページや広報紙等でお知らせしてまいります。

（3）真岡市井頭周辺農業拠点整備基本計画の策定について

次に、真岡市井頭周辺 農業拠点整備 基本計画についてであります。観光いちご園の一角をアグリゾーンとして位置づけ、日本一のいちごを核とした、農業拠点の整備を目的として策定いたしました。

この計画は、井頭周辺エリアが観光・交流の拠点であることを踏まえ、本市の魅力ある農業の実現と、農村と都市との交流促進に向け、取り組むべきイメージを示したものとなっております。

具体的には、あぐりっ娘の飲食機能の拡充、いちご狩りハウスの増設、果樹や露地野菜の収穫体験ができる農園ほ場、教育機関と連携した実習用ハウス、新規就農 希望者を対象とした研修用ハウスなどの整備を想定しております。

今年度については、あぐりっ娘の交流・展示室を改修し、飲食機能の拡充を図るほか、計画の推進に向けた関係者との調整などを進めてまいります。

（4）真岡井頭温泉「和モダンなライブラリースペース」の設置について

次に、真岡井頭温泉“いちごの湯”の「ライブラリースペース」についてですが、温泉にゆっくり楽しく滞在してもらうため、ガラス越しに緑豊かな景色が広がる中広間を、3世代が楽しめる和モダンなデザインに改装いたしました。

この部屋には、備え付けのソファやリクライニングシート、ハンモックなどでゆったりとくつろぎながら、約2,000冊のマンガや雑誌を読むことができるエリアと、ボードゲームや絵本、ブロックなどが楽しめるファミリー向けのエリアがあり、子どもから高齢者まで楽しめる場所となっております。

また、この部屋は、井頭温泉の利用者はもちろんのこと、チャットパレスやグランピングの宿泊者にもご利用いただき、井頭周辺エリアの滞在価値を高めるコンテンツの一つとして活用してまいります。

なお、感染症対策を徹底するため、入室の際には、手指の消毒、およびマスクの着用を義務付けるほか、スタッフによるこまめな消毒や、入口と窓の開放による常時換気などを行っております。

このほか、井頭公園で開催中のローズフェスタにあわせて、6月1日の休館日を除いた5月30日から6月6日までの期間中、午後4時から9時まで、女性用の薬湯風呂にバラ700輪を浮かべた「バラ風呂」をお楽しみいただけます。

また、売店では、食べられるバラを使った花サンドイッチや、バラの香水、雑貨なども販売しておりますので、この機会にぜひ、ご利用いただければと思います。

（5）真岡市合葬墓地等整備基本計画の策定について

次に、真岡市 合葬墓地等 整備基本計画についてですが、今年度、新たな市営墓地のあり方を検討し、市内の整備状況や現地調査をもとに、将来の墓地需要や合葬墓地などを含めた墓地整備の指針として策定してまいります。

本市の現状としましては、昭和49年度に開設した市営熊倉墓地、および、平成元年度に供用を開始した長田霊園の2カ所があり、本年4月末の時点で、合計2,113区画の内、残り区画が109カ所と少なくなつて

きていること、また、社会情勢の変化に伴い、墓地のニーズも多様化していることなどが挙げられるため、それらに対応した整備計画として策定を進めてまいります。

（6）灯ろう流し、もおか木綿踊りの開催について

次に、灯ろう流し、もおか木綿踊りの開催についてであります。例年8月15日に開催しております「灯ろう流し」については、真岡商工会議所青年部において、感染症対策を十分に講じた上で、開催を予定しているとのことであります。

また、8月21日に開催を予定していた「もおか木綿踊り」については、実行委員会において、今年度の開催中止を決定したとのことありますので、ご報告いたします。

（7）インスタグラム4月のフォトコンテスト授賞式について

次に、毎月テーマを決め開催しておりますインスタグラムのフォトコンテストについてであります。4月のテーマ「真岡の桜」では、過去最高となる394件の応募があり、その中からシティープロモーション賞、観光協会長賞、真岡鐵道賞、観光協会企画委員長賞の4つの賞を決定いたしました。

本日、記者会見終了後、この会場においてフォトコンテスト授賞式を開催いたしますので、引き続きの取材をよろしくお願いいたします。

なお、受賞作品については、市公式インスタグラムのほか、市ホームページでも見るができますので、ぜひご覧ください。

また、6月のフォトコンテストのテーマは「あなたの真岡」であります。開催して1年となる集大成のコンテストになりますので、季節などにとらわれず、「自分が感じる真岡の魅力」を撮影し、投稿していただければと思います。

（8）コットベリー、もおかぴょん「じんけん大使」委嘱状交付式について

次に、コットベリー、および、もおかぴょんの「じんけん大使」委嘱状交付式についてであります。6月2日、水曜日、午後2時から、本庁舎

の405会議室で行います。

このイベントは、宇都宮地方 法務局および栃木県 人権擁護委員 連合会が主催するもので、委嘱後については、街頭活動や作文コンクール表彰式など、人権啓発活動への参加によるPR効果の向上が期待されています。